

令和7年3月17日

学長候補者の決定について

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

学長選考・監察会議

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学学長選考・監察会議は、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学学長選考規則第12条の規定に基づき、学長の再任に係る選考（再任審査）を行った結果、学長候補者を下記のとおり決定したので公表する。

記

1 学長候補者

寺野 稔 （現学長）

2 任期

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで（4年間）

3 選考理由

寺野学長は、北陸先端科学技術大学院大学の大学改革と大学経営に誠心誠意、強い信念を持って強力なリーダーシップを発揮して、競争的外部資金の獲得を含む研究力の強化、プレゼンスの向上、運営体制の改革、学生募集の改革、博士課程への援助施策などを精力的に推進し、多くの傑出した業績をあげ、令和5年に行われた学長中間評価において“期待を大幅に上回る業績である”という高評価がなされている。一研究科としての一体的な管理運営体制を実現し、教育活動の一層の活性化に結実させ、また、研究領域を再編し、教員間の連携と共創による新しい研究分野に発展しうる環境を整備し、未来ビジョンの実現を進めた。地域社会への貢献では、北陸地域の産学連携分野を代表する活動に関して、立ち上げ、運営を主導し、独自の取り組みが中央官庁、自治体、経済団体などの多様なステークホルダーとのエコシステムの構築に寄与してきたことは特筆すべき業績である。学長選考・監察会議は、令和6年11月22日（金）に、学長就任後の具体的な業績・成果について、審議資料に基づき審議し、全会一致で寺野学長の再任選考開始を決定した。それを受けて、令和7年1月16日（木）に学長再任審査（面接）を実施し、多岐にわたる業績・成果と今後の取組みなど、寺野学長の提出資料・説明に対する質疑を行い、再任可否について鋭意審議を行った。また、面接時の学長の提出資料と学長選考・監察会議作成の学長業績評価書（中間評価）を基に、学長の再任に係る選考に関して学内の構成員からも意見聴取を行った。それらの結果を踏まえ、令和7年3月14日（金）の学長選考・監察会議において慎重かつ公正に審議し、寺野学長の再任を全会一致で決定した。

4 選考過程

令和6年 9月20日	学長選考・監察会議において、「学長の再任に係る選考実施要項」を決定した。
令和6年11月22日	学長選考・監察会議において、現学長の再任に係る選考開始の可否について審査書類に基づき審議した結果、再任に係る選考を開始することを決定した。 学内に対して「学長の再任に係る選考実施要項」を公表し、学長の再任に係る選考（再任審査）を行うことを通知した。
令和6年11月25日	現学長に再任意意があることを確認し、審査書類の一つとして資料（業務執行の状況と今後の取り組み）の提出を求めた。
令和7年 1月16日	学長選考・監察会議において、現学長に対し、審査書類等に基づく面接（学長プレゼンテーションと質疑応答）を実施した。
令和7年 1月17日 ～2月 6日	本学構成員に対し、資料（業務執行の状況と今後の取り組み）及び学長業績評価 評価書（中間評価）を公開の上、意見聴取を行った。
令和7年 3月14日	学長選考・監察会議において、再任の可否を審議した結果、再任を可とし寺野 稔氏を学長候補者として決定した。